

各位

積水化学工業株式会社

TCFD^{※1}への賛同について

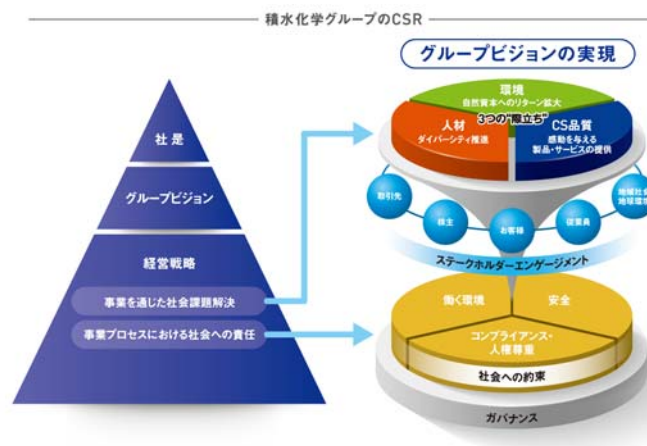
積水化学工業株式会社（社長：高下貞二、以下「当社」）はこの度、気候変動が企業の財務に与える影響の分析・情報開示を推奨する提言を行う TCFD への賛同を表明しました。

積水化学グループは、「積水化学グループの CSR」^{※2}において、企業価値向上やステークホルダーとの信頼関係構築のために建設的な対話を図る「ステークホルダーエンゲージメント」を推進するとともに、財務的・環境的・社会的側面から見て重要な企業情報を積極的に開示する方針を定めています。また、積水化学グループの中期経営計画「[SHIFT 2019 -Fusion-](#)」における基本戦略として、ESG 視点での持続可能な経営基盤構築を掲げ、その推進に取り組んでいます。特に E（環境）に関しては、環境中期計画「[SEKISUI 環境サステナブルプラン Accelerate](#)」（2017～2019 年度）において、気候変動をはじめとする環境課題に意欲的に取り組んでいます。2018 年 6 月には化学セクターとして世界で初めて SBT 認証^{※3}を取得し、自社およびサプライチェーンを含む GHG 排出量を 2030 年度までに大幅に削減する取り組みを推進しています。今後、気候変動課題に対しては、長期にわたって企業が受けるリスクや機会を分析するとともに、その対処および課題に対する戦略を検討し実行していくことが、企業および地球の持続可能性を高めるうえで重要だと考えています。

当社は、TCFD 提言で求められている情報開示の姿勢に賛同し、関連する情報の開示を推進していくことで、ステークホルダーとの信頼関係を含めた持続可能な経営基盤の構築を図ります。

※1 TCFD・・・2015 年に金融システムの安定化を図る国際的組織である金融安定理事会（FSB）により設立された気候変動関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）。

※2 [積水化学グループの CSR](#)（概念図）



※3 SBT・・・Science Based Targets の略称。パリ協定の採択を契機として国連グローバルコンパクトをはじめとする共同イニシアチブが提唱。SBT イニシアチブにより企業が定めた温室効果ガス削減目標が、長期的な気候変動対策に貢献する科学的に整合した目標（SBT）であることが認定される。当社の SBT 認証取得に関するプレスリリースは[こちら](#)。

以上

<本件に関するお問合せ先>

【報道関係のお客様】 経営戦略部 広報グループ 中村 TEL：03-5521-0522 FAX：03-5521-0510
 【報道関係以外のお客様】 経営戦略部 環境経営グループ TEL：03-5521-0791 FAX：03-5521-0603